

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

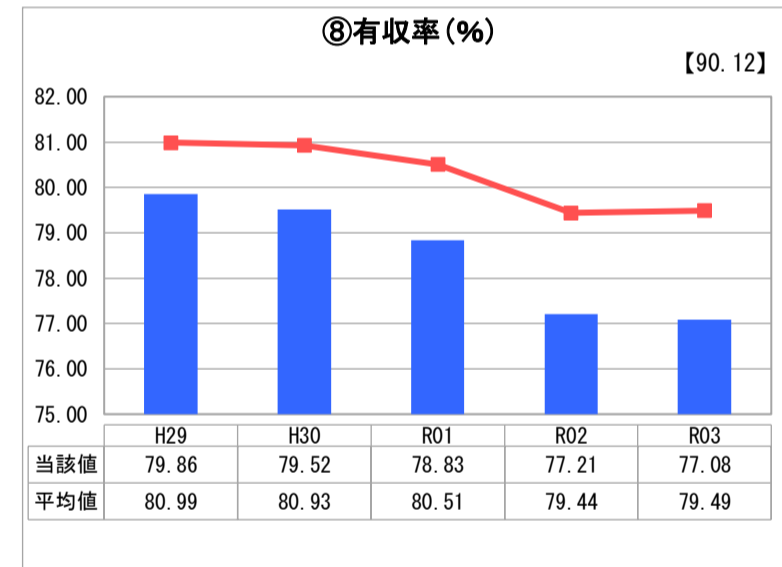
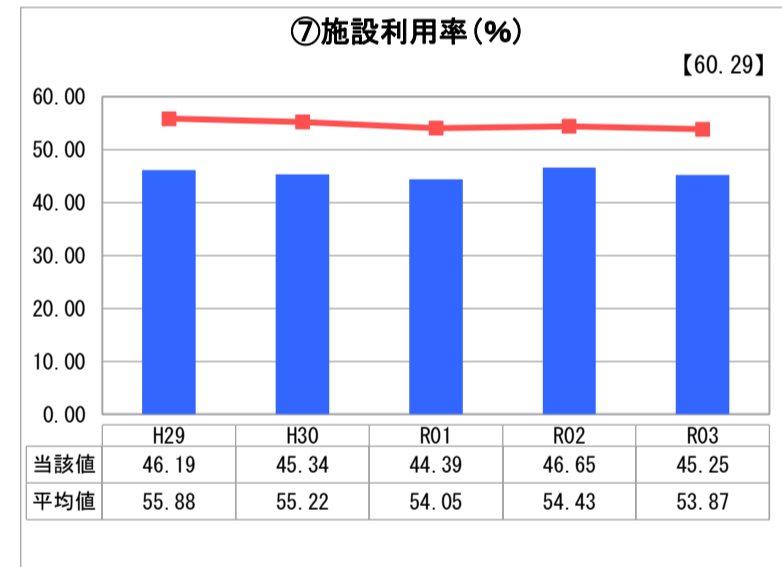
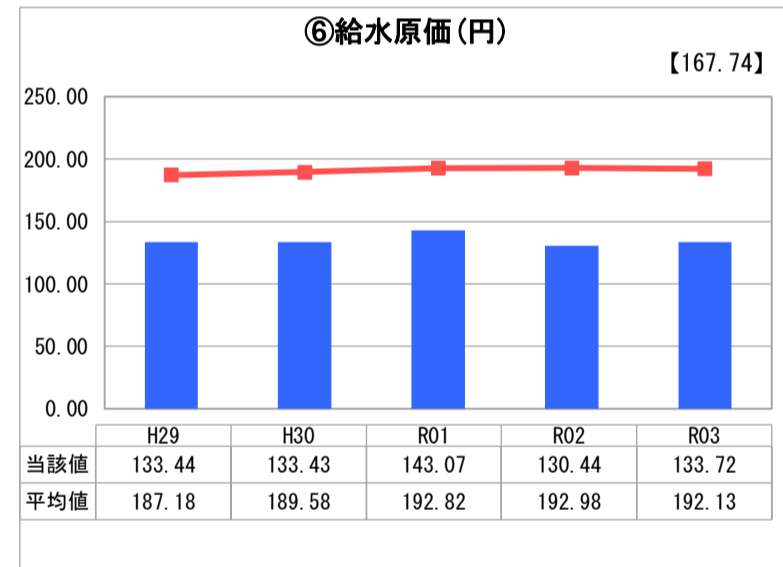
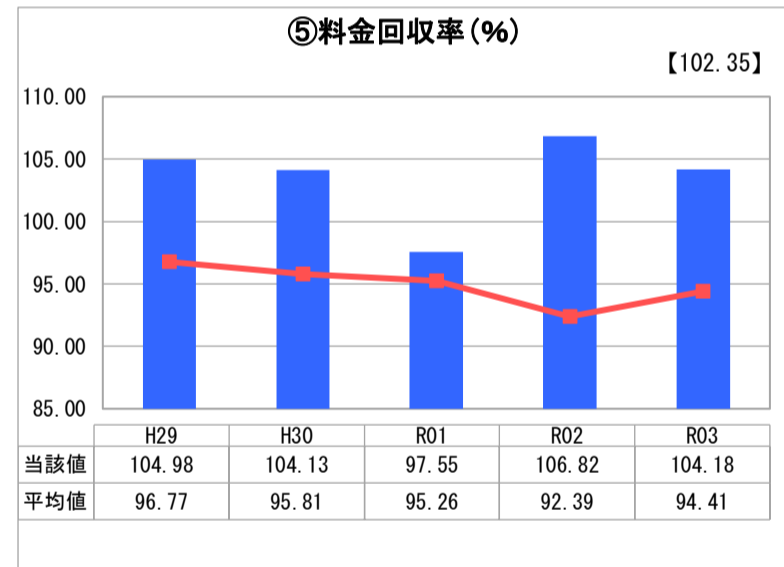
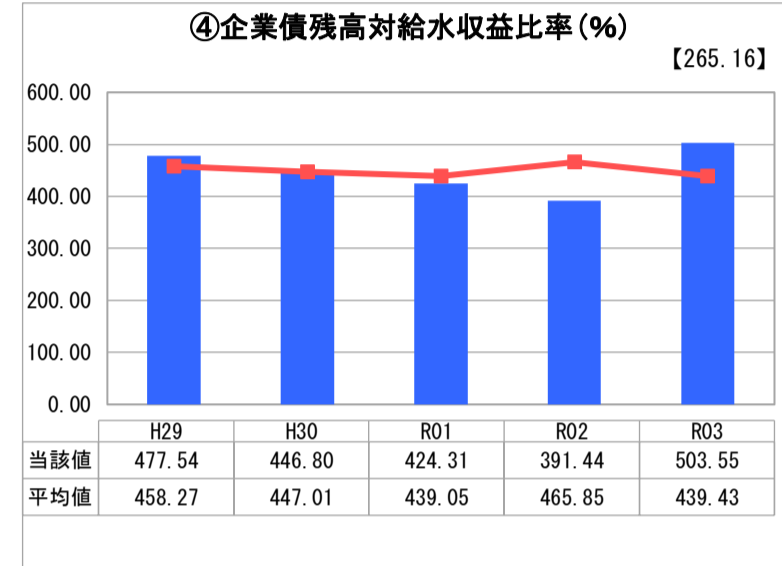
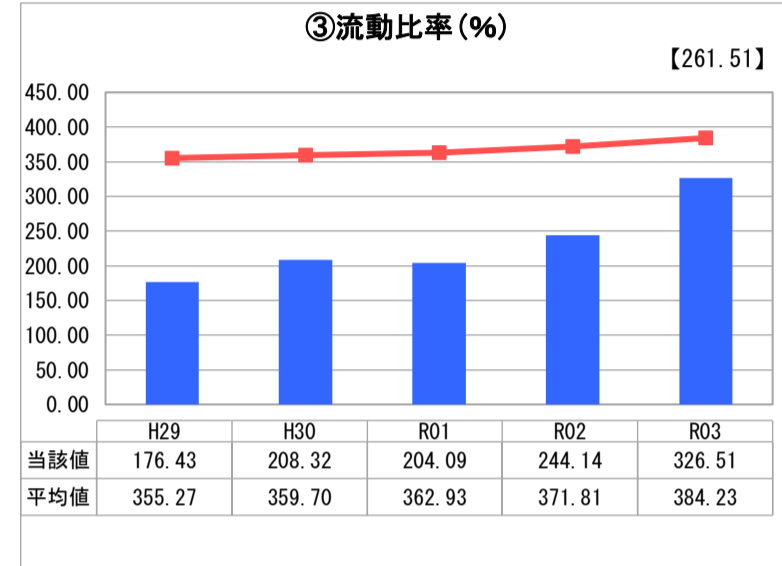
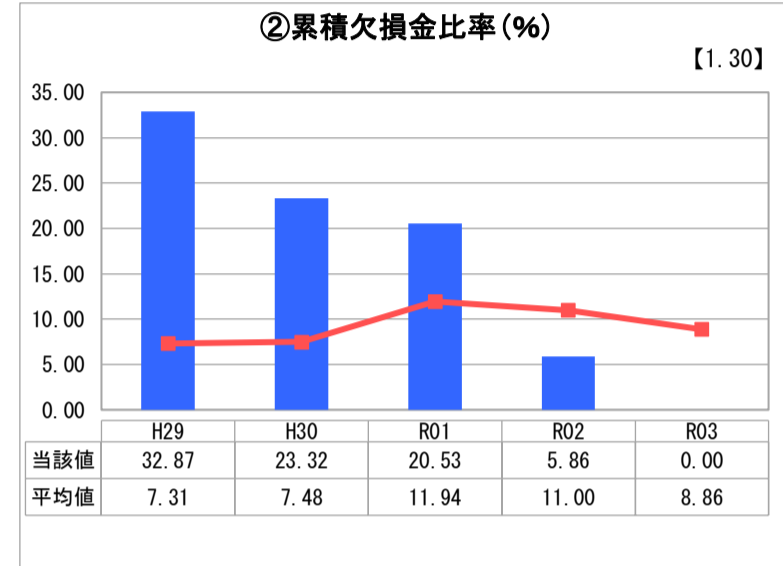
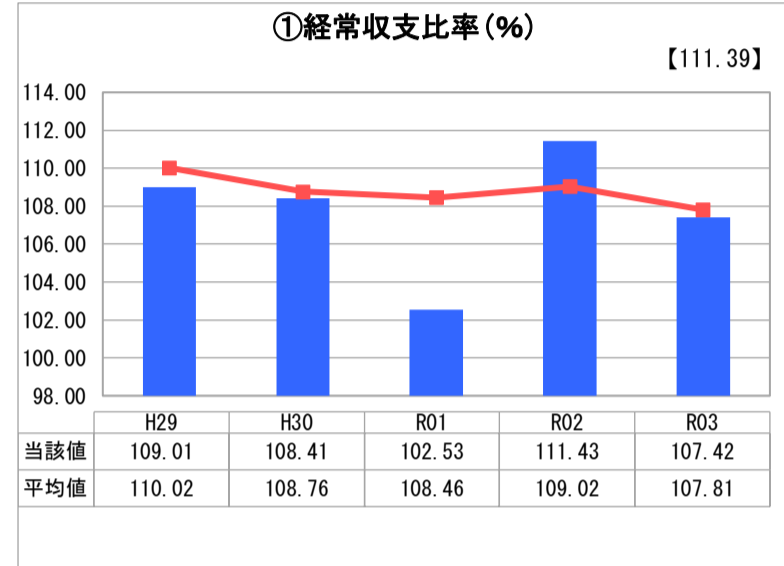
鳥取県 大山町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	73.29	88.73	1,194	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
15,625	189.83	82.31
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
13,730	67.01	204.89

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

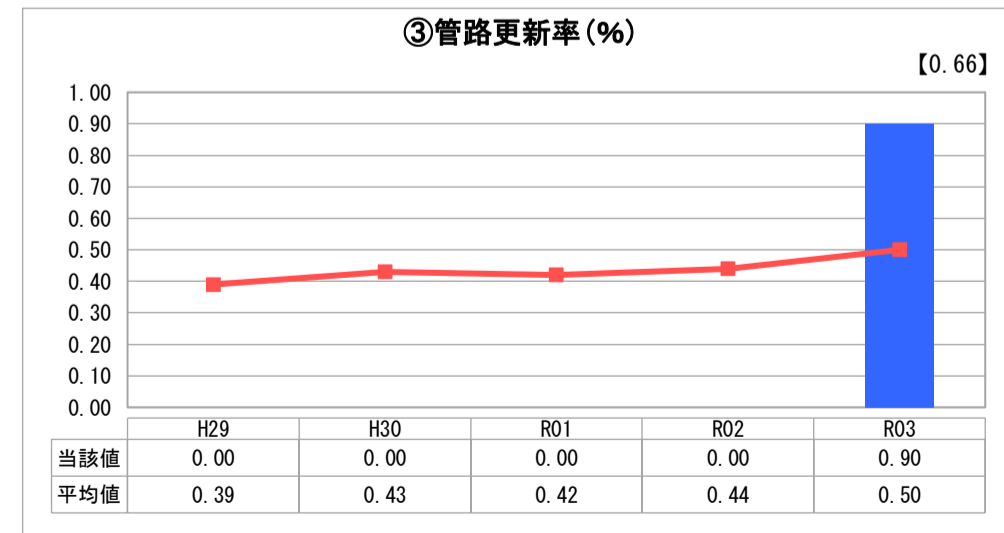
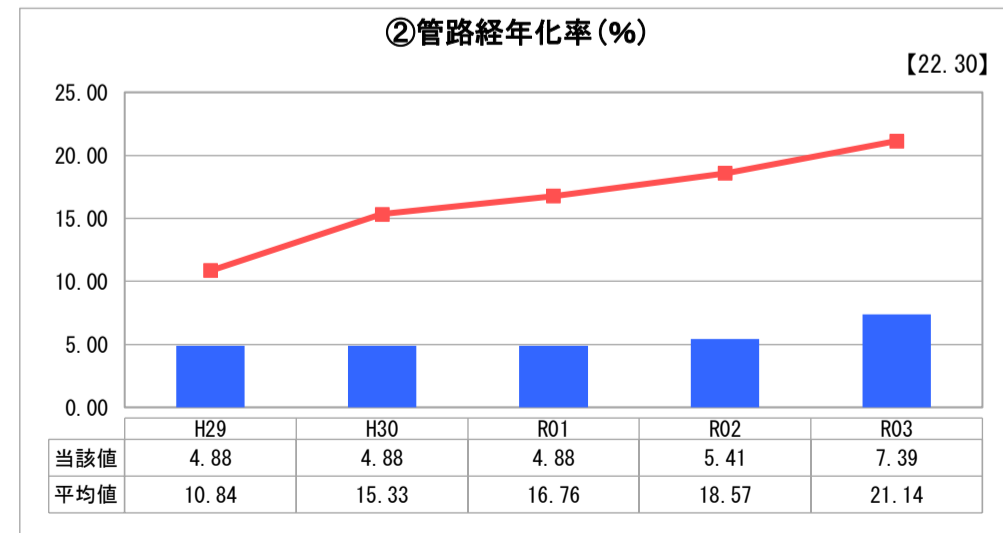
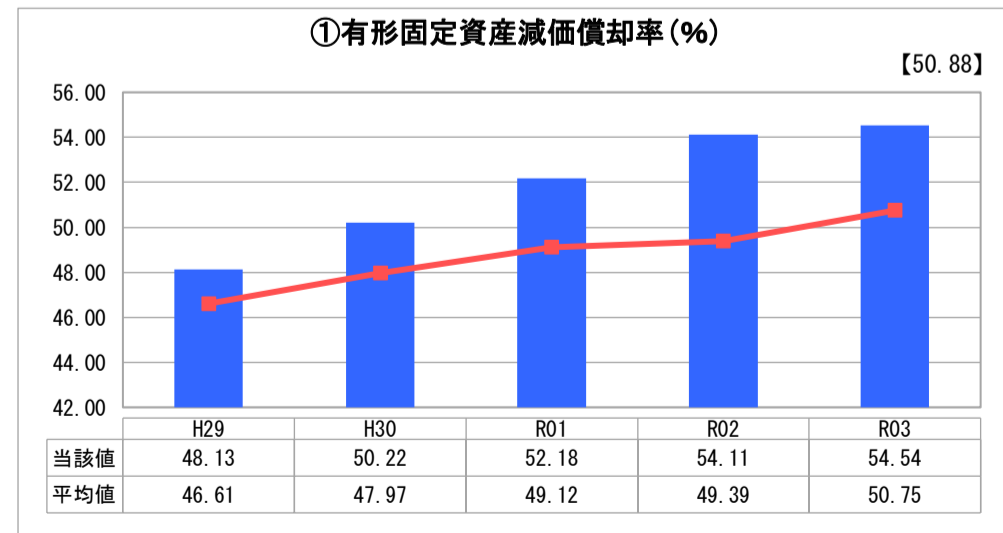
### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%を超え黒字を示しているが、前年度に比べて数値が下がった。また全国平均を下回っており、今後の経過に注意していかねばならない。  
 ② 累積欠損金比率は、累積欠損金が発生しなかったため0%である。  
 ③ 流動比率は、全国平均を大きく上回った。  
 ④ 企業債残高対給水収益比率は、前年度を大きく上回っているが、必要な施設の更新のために企業債が増えたためである。  
 ⑤ 料金回収率は100%を上回っているが、給水収益が減少傾向にあるため、費用削減に向けた努力が必要となる。  
 ⑥ 給水原価は全国平均、類似団体の平均を下回った。今後も費用削減に向けた努力が必要である。  
 ⑦ 施設利用率、⑧ 有収率は全国平均、類似団体の平均を下回った。これらの指標を改善できるように漏水箇所の発見に努め、適切な施設運営を行いたい。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、年々数値が増加している。全国平均、類似団体の平均とも上回り、今後施設の更新等が必要となることが推測される。  
 ② 管路経年化率は低いですが、今後計画的な更新に取り組む必要がある。  
 ③ 管路更新率の数値が高いのは、管路の更新を行ったためである。今後も管路の更新を実施する予定である。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

経営状況については、全体的に全国平均、類似団体の平均を下回っている。今後は料金改定の検討を進めながら、経費削減、適切な施設運営および整備等により経営改善に努めなければならない。  
 また、施設の老朽化が進行しているため、必要な時期に必要な投資ができるよう策定したアセットマネジメント、経営戦略に基づき、計画的に施設の更新を進める必要がある。